

全国在宅療養支援診療所連絡会 第1回全国大会 プログラム別詳細

タイトル	2014年度在宅医療の診療報酬について考える～緊急提言～
日時	平成26年3月22日(土) 14:00～15:50
会場	サブホール(503)
座長	石垣泰則 (連絡会副会長・城西神経内科クリニック) 岡田孝弘 (連絡会世話人・オカダ外科医院)
演者	木村幸博 (連絡会世話人・もりおか往診クリニック) 小野宏志 (連絡会会員・坂の上ファミリークリニック) 永井康徳 (連絡会副実行委員長・たんぼぼクリニック) 大島一博 (厚生労働省保険局)
企画の趣旨・概要	<p>2014年度は医療保険の診療報酬改定に当たる年である。在宅医療推進の追い風とはいえ、増大する医療費により国家財政が逼迫しつつある中、必ずしも楽観的な報酬改定を期待することはできない。そして、現状の診療報酬制度は現場の実状を適切に反映していないことや地域による格差などにおいて矛盾が顕れている。</p> <p>2014年診療報酬改定はこれまでにない大きな改定であり、その変化に対応することが難しい医療機関も現れている。当シンポジウムにおいては、2014年度診療報酬改定に対する反響を踏まえ、在宅医療のエキスパートからの意見並び厚労省の意見を聞き、その対応を考える機会とする。さらに、将来に向けて、あるべき診療報酬の姿を提示するために、現在活躍する在宅医療のエキスパートによるディスカッションを行う。</p>

(敬称略)